

ぶしは、しずかにたちあがった。

めのまえには、さばきをまつおとこ
がいた。

「おまえに、さいごにいいこと
はないか。」

おとこは、じつとまえをみつめたま
ま、ゆっくりとうなずいた。

もりおづがい「やいづのいっく」より